

サロンでの気づき

サロンを訪問させて頂き、気づいたこと、聞いたことなど、お伝えしたいと思います。何かお役に立てれば嬉しいです。

今年の梅雨は例年に無く梅雨らしい天候が続いています。雨が続きと気分が滅入る中、晴れた休日に東広島市豊栄にあるトムミルクファームに行って来ました。

小さな牧場ですが、牛や山羊や豚と身近にふれあうことができる素敵な牧場です。

事前に予約すると 牧場体験学習 もできるそうです。

何ととっても濃厚でボリュームのあるジェラートは本当に美味しいです。おすすめです。



見学して感じたことですが、ここで働いている方は牛のことを家族のように大切にしておられることです。

ふと、福島の飯舘村の酪農家を思い出してしまいました。早く元の生活に戻れますように。



■先月の「たにくちだより」で紹介させて頂いたタクシー運転手の方から戦前教育の柱である教育勅語に関する資料を頂きましたのでご紹介させていただきます。

※裏面をご覧ください。

昭和20年8月、日本は敗戦によりマッカーサー元帥指揮下のアメリカ軍に占領され、その司令部であるG・H・Qから日本を徹底的に弱体化せしめんとする4つの指令がくだされました。その中に教育勅語の廃止・道徳教育(修身科)の廃止がありました。これにより過去2千年間脈々と培われていた「日本の心」は戦後60年の間、じわじわと失われてしまったのです。

もう一度、心豊かで活力のある日本を取り戻すには、先人達が大切にしてきた「日本の心(大和魂)」を一人一人が身につけることだと思います。

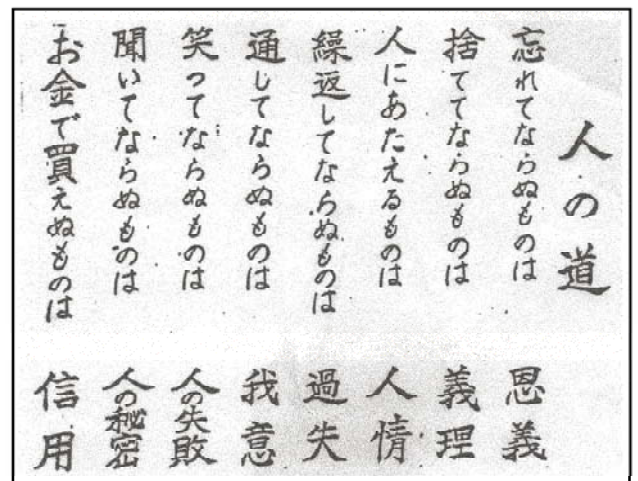
■分相応(身の丈)

あるサロンオーナーさんが「近頃は分相応っていう事を知らない人が多いから、社会がおかしくなっているんじゃないかね」と言われました。分相応の意味を改めて調べてみました。辞書には「言動・支出・生活・待遇などが、その人の身分・地位・能力などにふさわしい様子」(新明解国語辞典)とあります。また、ある人は、「自分の分を知らず、身の程をわきまえない、自分中心の

思いでいると、人や物事に対して不平不満を思ったり、腹を立てカンシャクを起こしたりして取り返しのつかない破局を迎える」と書いてありました。その他いろんな方が分相応について書かれているものを読みましたが、私なりに思ったことは、今の自分の置かれている立場、役割の中で(分をわきまえて)、自分が今持っている能力を精一杯出し切ることが「人も良し我も良し」という幸せな生き方につながるのだと思います。分相応を心掛けて頑張ってください。

■信用

先日、あるサロンオーナーとの会話の中で「お客様から信用してもらうにはある程度の年月が必要ですね。信用はコツコツ積み重ね、やり続けることによって得られるんですよね」と言われました。確かに銀行でお金を借りる時、勤続年数を書く欄がありますが、同じ会社に長く勤めていると信用力が高く、融資に大きく影響することからもわかります。人の道にもありました「お金で買えぬものは 信用」とあります。



運転手さんから教育勅語と一緒に頂きました。

■率先垂範

スタッフさん7名のある繁盛サロンのオーナーさんです。いつもは天真爛漫な気さくなオーナーさんですが、手が空いていればすぐにシャンプーに入られますし、閉店間際の時間にお伺いすると、結婚されているスタッフの方を氣遣って、遅くならないようにテキパキと一緒に後片付け、掃除をされておられます。当たり前のことかもしれませんがいつも感心しています。

上が教育勅語の正文で、これは戦前の小学校4年生の修身教科書から抜粋したものです。
下が口語文に訳したものです。

朕惟フニ我カ皇祖皇宗國ヲ肇ムルコト宏遠ニ
徳ヲ樹ツルコト深厚ナリ我カ臣民ク忠ニ克
ク孝ニ億兆心ヲ一ニシテ世々厥ノ美ヲ濟セル
ハ此レ我カ國體ノ精華ニシテ教育ノ淵源亦實
ニ此ニ存ス爾臣民父母ニ孝ニ兄弟ニ友ニ夫婦
相和シ朋友相信シ恭儉己レヲ持シ博愛衆ニ及
ホシ學ヲ修メ業ヲ習ヒ以テ智能ヲ啓發シ徳器
ヲ成就シ進テ公益ヲ廣メ世務ヲ開キ常ニ國憲
ヲ重シ國法ニ遵ヒ一旦緩急アレハ義勇公ニ奉
シ以テ天壤無窮ノ皇運ヲ扶翼スヘシ是ノ如キ
ハ獨リ朕カ忠良ノ臣民タルノミナラス又以テ
爾祖先ノ遺風ヲ顯彰スルニ足ラン
斯ノ道ハ實ニ我カ皇祖皇宗ノ遺訓ニシテ子孫
臣民ノ俱ニ遵守スヘキ所之ヲ古今ニ通シテ謬
ラス之ヲ中外ニ施シテ悖ラス朕爾臣民ト俱ニ
拳々服膺シテ咸其徳ヲ一ニセンコトヲ庶幾フ

明治二十三年十月三十日

御名 御璽

『教育勅語』戦前小学四年修身教科書

教育勅語の口語文訳

私は、私達の祖先が、遠大な理想のもとに、道義国家の実現をめざして、日本の国をおはじめになつたものと信じます。そして、国民は忠孝両全の道を完うして、全国民が心を合わせて努力した結果、今日に至るまで、美事な成果をあげて参りましたことは、もとより日本のすぐれた国柄の賜物といわねばなりません。私は教育の根本もまた、道義立国の達成にあると信じます。

国民の皆さんは、子は親に孝養をつくし、兄弟、姉妹はたがいに力を合わせて助け合い、夫婦は仲むつまじく助け合い、友人は胸襟を開いて信じあい、そして自分の言動をつつしみ、すべての人々に愛の手をさしのべ、学問を怠らず、職業に専念し、知識を養い、人格をみがき、さらに進んで、社会公共のために貢献し、また法律や、秩序を守ることは勿論のこと、非常事態の発生の場合は、真心をささげて、国の平和と、安全に奉仕しなければなりません。そして、これらのことは、善良な国民としての当然のつとめであるばかりでなく、また、私達の祖先が、今日まで身をもって示し残された伝統的美風を、更にいつそう明らかにすることでもあります。

このような国民の歩むべき道は、祖先の教訓として、私達子孫の守らなければならぬところであると共に、このおしえは、昔も今も変わらぬ正しい道であり、また日本ばかりでなく、外国で行なつても、まちがいのない道でありますから、私もまた国民の皆さんとともに、父祖の教えを胸に抱いて、立派な日本人となるように、心から念願するものであります。